

## LM・ブラジル国債ファンド (毎月分配型)

### 運用報告書 (全体版)

第126期	決算日	2019年4月15日
第127期	決算日	2019年5月13日
第128期	決算日	2019年6月13日
第129期	決算日	2019年7月16日
第130期	決算日	2019年8月13日
第131期	決算日	2019年9月13日

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	当ファンドは、主に「LM・ブラジル国債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にブラジル・レアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的成長を目指します。	
主要運用対象	当ファンド	「LM・ブラジル国債マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	LM・ブラジル国債マザーファンド	ブラジル・レアル建てのブラジル国債を主要投資対象とします。
組入制限	外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	決算日（原則として毎月13日。休業日の場合は翌営業日）に、収益分配方針に基づいて分配を行います。	

当報告書に関するお問い合わせ先：  
レッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

お問い合わせ窓口

電話番号：03-5219-5947

### － 受益者のみなさまへ －

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「LM・ブラジル国債ファンド（毎月分配型）」は、2019年9月13日に第131期の決算を行いましたので、第126期、第127期、第128期、第129期、第130期、第131期の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

レッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

〒100-6536 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

<http://www.leggmason.co.jp>

## ○最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税金 込配 分	み 期 騰 落	額 中 率	債券 組入 比率	債券 先物 比率	純資 産額
102期(2017年4月13日)	5,248	35	△ 3.7		96.8	—	58,561
103期(2017年5月15日)	5,505	35	5.6		96.0	—	62,203
104期(2017年6月13日)	4,958	35	△ 9.3		95.5	—	56,641
105期(2017年7月13日)	5,338	35	8.4		99.6	—	60,860
106期(2017年8月14日)	5,224	35	△ 1.5		98.9	—	58,105
107期(2017年9月13日)	5,409	35	4.2		97.8	—	59,629
108期(2017年10月13日)	5,439	35	1.2		97.1	—	58,816
109期(2017年11月13日)	5,279	35	△ 2.3		96.2	—	56,317
110期(2017年12月13日)	5,216	35	△ 0.5		95.4	—	55,337
111期(2018年1月15日)	5,332	35	2.9		99.1	—	56,128
112期(2018年2月13日)	5,061	35	△ 4.4		98.4	—	52,372
113期(2018年3月13日)	5,063	35	0.7		97.7	—	52,264
114期(2018年4月13日)	4,889	35	△ 2.7		97.0	—	49,811
115期(2018年5月14日)	4,678	35	△ 3.6		96.1	—	46,829
116期(2018年6月13日)	4,452	35	△ 4.1		95.6	—	44,168
117期(2018年7月13日)	4,366	35	△ 1.1		100.0	—	43,217
118期(2018年8月13日)	4,280	35	△ 1.2		98.6	—	42,927
119期(2018年9月13日)	3,981	35	△ 6.2		97.6	—	40,484
120期(2018年10月15日)	4,457	35	12.8		97.0	—	45,413
121期(2018年11月13日)	4,557	35	3.0		96.0	—	44,505
122期(2018年12月13日)	4,462	35	△ 1.3		95.7	—	43,240
123期(2019年1月15日)	4,471	35	1.0		98.7	—	44,845
124期(2019年2月13日)	4,540	35	2.3		98.6	—	45,201
125期(2019年3月13日)	4,449	35	△ 1.2		97.9	—	44,053
126期(2019年4月15日)	4,374	35	△ 0.9		97.2	—	43,464
127期(2019年5月13日)	4,207	35	△ 3.0		96.5	—	42,031
128期(2019年6月13日)	4,298	25	2.8		96.0	—	43,582
129期(2019年7月16日)	4,448	25	4.1		99.1	—	45,074
130期(2019年8月13日)	4,086	25	△ 7.6		98.8	—	42,254
131期(2019年9月13日)	4,104	25	1.1		97.8	—	43,224

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
			円	%			
第126期	(期 首) 2019年 3月13日	4,449	—	%	97.9	%	—
	3月末	4,332	△2.6		97.5		—
	(期 末) 2019年 4月15日	4,409	△0.9		97.2		—
第127期	(期 首) 2019年 4月15日	4,374	—		97.2		—
	4月末	4,293	△1.9		96.7		—
	(期 末) 2019年 5月13日	4,242	△3.0		96.5		—
第128期	(期 首) 2019年 5月13日	4,207	—		96.5		—
	5月末	4,195	△0.3		96.3		—
	(期 末) 2019年 6月13日	4,323	2.8		96.0		—
第129期	(期 首) 2019年 6月13日	4,298	—		96.0		—
	6月末	4,350	1.2		96.0		—
	(期 末) 2019年 7月16日	4,473	4.1		99.1		—
第130期	(期 首) 2019年 7月16日	4,448	—		99.1		—
	7月末	4,447	△0.0		98.6		—
	(期 末) 2019年 8月13日	4,111	△7.6		98.8		—
第131期	(期 首) 2019年 8月13日	4,086	—		98.8		—
	8月末	3,930	△3.8		98.2		—
	(期 末) 2019年 9月13日	4,129	1.1		97.8		—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

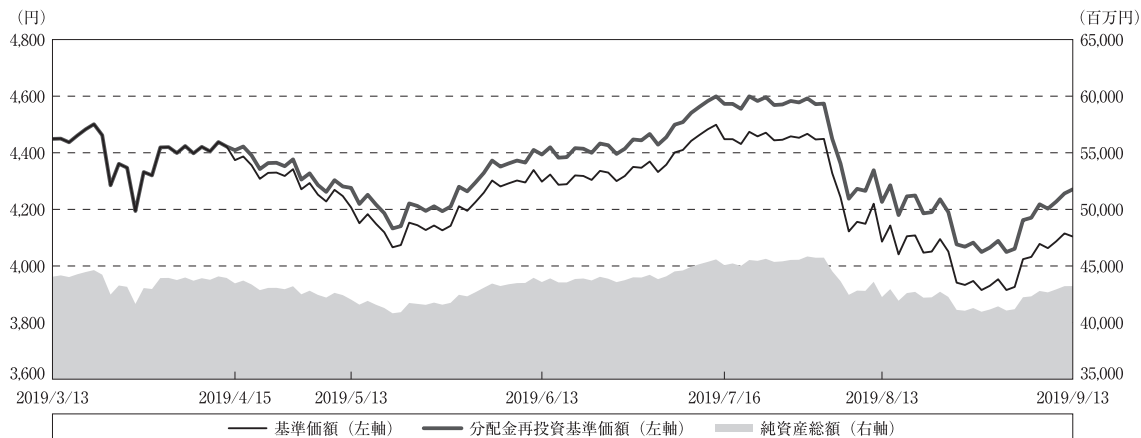
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

### 作成期間中の基準価額等の推移

(2019年3月14日～2019年9月13日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2019年3月13日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

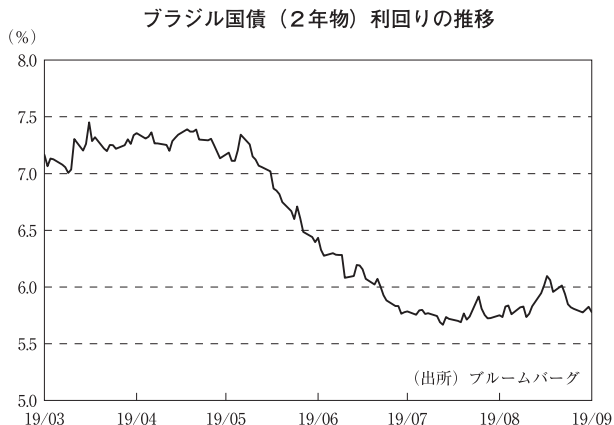
当作成期の当ファンドのパフォーマンス(騰落率)はマイナス(分配金再投資ベース)となりました。ブラジルリアル安・円高を反映して、為替損益がマイナスとなったことが主に影響しました。一方、ブラジルの金利水準が相対的に高いことから、公社債利金を手堅く確保しました。また、公社債損益もプラスとなりました。

当作成期のブラジル債券市場では、利回りが低下（価格は上昇）しました。

期の前半は、年金改革法案を巡る動向を見守りつつ、利回りは概ね横ばいとなりました。米国の利上げ観測が後退し、投資家のリスク回避姿勢が緩んだことなども、利回りの上昇（価格は下落）を抑えました。

期の半ばは、年金改革法案審議の進展期待が強まったことなどから、ブラジル資産が見直され、利回りは低下しました。その後も、ブラジル中央銀行（BCB）による利下げ観測が強まったことに加え、欧米の追加緩和観測が強まったことなどから、利回りの低下が続きました。

期の後半は、BCBが利下げ（6.5%→6.0%）を決定し、追加緩和を示唆したことなどから、利回りは低下しました。しかし、その後、米中貿易摩擦激化への懸念や隣国アルゼンチンの政局不安などを背景に、投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、利回りに上昇圧力がかけられました。当作成期末にかけては、利回りの上昇は抑えられました。



当作成期のブラジルリアル・円相場は、レアル安・円高となりました。

期の前半は、世界経済の減速懸念が高まったことや、テメル前大統領の逮捕を受け政局の不透明感が意識されたことなどから、レアル売り・円買いが優勢となりました。その後も、新興国通貨が軟調となった流れを受け、レアル売り・円買いが優勢となりました。

期の半ばは、BCBがレアルの下支えとなる為替介入を実施したことなどをきっかけに、レアルは対円で反発しました。その後も、BCBによる為替・資本市場に関する包括的な規制緩和への期待や、年金改革法案審議の進展期待などを背景に、レアルは底堅く推移しました。

期の後半は、BCBが利下げを決定し債券利回りが低下したことや、米中貿易摩擦懸念が強まり投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、レアル売り・円買いが強まりました。さらに、アルゼンチンの市場混乱なども、レアル売りにつながりました。



当ファンドは、主に「LM・ブラジル国債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用に努めてまいりました。また、外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。当作成期においては、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築しました。

## 分配金

(2019年3月14日～2019年9月13日)

分配金につきましては、基準価額動向や保有債券の利子収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

## ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第126期	第127期	第128期	第129期	第130期	第131期
	2019年3月14日～ 2019年4月15日	2019年4月16日～ 2019年5月13日	2019年5月14日～ 2019年6月13日	2019年6月14日～ 2019年7月16日	2019年7月17日～ 2019年8月13日	2019年8月14日～ 2019年9月13日
当期分配金 (対基準価額比率)	35 0.794%	35 0.825%	25 0.578%	25 0.559%	25 0.608%	25 0.605%
当期の収益	27	22	25	25	20	22
当期の収益以外	7	12	—	—	4	2
翌期繰越分配対象額	253	241	246	256	252	250

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行い、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築してまいります。

# ○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年3月14日～2019年9月13日)

項 目	第126期～第131期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 36	% 0.842	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(17)	(0.407)	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	(17)	(0.407)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 1 )	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	4	0.084	(b)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 3 )	(0.075)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 0 )	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( 印 刷 等 費 用 )	( 0 )	(0.007)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に 係る費用
合 計	40	0.926	
作成期間の平均基準価額は、4,257円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

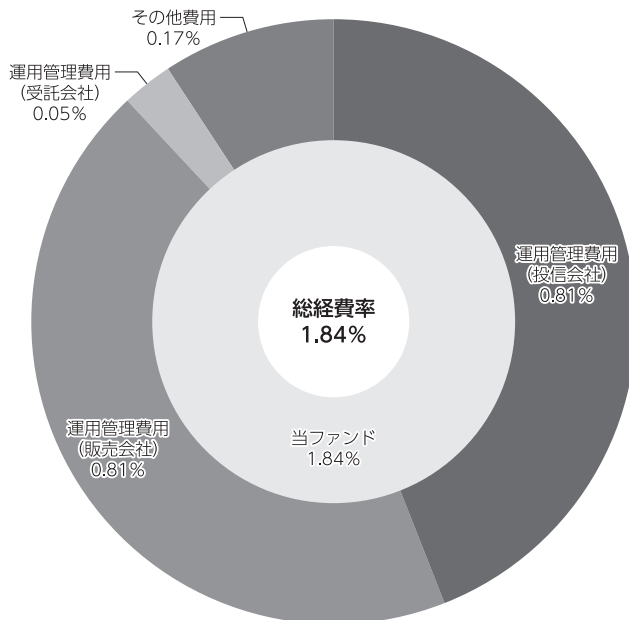
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

### ○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.84%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



## ○売買及び取引の状況

(2019年3月14日～2019年9月13日)

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第126期～第131期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
LM・ブラジル国債マザーファンド		3,286,381	5,648,785	2,985,162	5,156,291

(注) 単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2019年3月14日～2019年9月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

(2019年3月14日～2019年9月13日)

該当事項はございません。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2019年3月14日～2019年9月13日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2019年9月13日現在)

### 親投資信託残高

銘	柄	第125期末	第131期末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
LM・ブラジル国債マザーファンド		25,503,730	25,804,950	43,548,434

(注) 単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2019年9月13日現在)

項 目	第131期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
LM・ブラジル国債マザーファンド	43,548,434	99.9
コール・ローン等、その他	47,658	0.1
投資信託財産総額	43,596,092	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) LM・ブラジル国債マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(52,894,337千円)の投資信託財産総額(53,875,826千円)に対する比率は98.2%です。

(注) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、9月13日における邦貨換算レートは1米ドル=108.25円、1ブラジルリアル=26.63円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第126期末	第127期末	第128期末	第129期末	第130期末	第131期末
	2019年4月15日現在	2019年5月13日現在	2019年6月13日現在	2019年7月16日現在	2019年8月13日現在	2019年9月13日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	43,966,034,041	42,453,483,249	43,974,858,245	45,538,173,501	42,604,668,128	43,596,092,966
LM・ブラジル国債マザーファンド(評価額)	43,879,207,676	42,436,484,581	43,895,964,592	45,395,106,034	42,571,293,235	43,548,434,330
未収入金	86,826,365	16,998,668	78,893,653	143,067,467	33,374,893	47,658,636
(B) 負債	501,413,461	422,172,911	392,854,982	463,860,145	349,843,091	371,300,279
未払収益分配金	347,819,213	349,699,322	253,475,661	253,325,213	258,528,062	263,303,642
未払解約金	86,826,365	16,998,668	78,893,653	143,067,467	33,374,893	47,658,636
未払信託報酬	66,069,677	54,877,533	59,862,563	66,803,465	57,307,578	59,640,540
その他未払費用	698,206	597,388	623,105	664,000	632,558	697,461
(C) 純資産総額(A-B)	43,464,620,580	42,031,310,338	43,582,003,263	45,074,313,356	42,254,825,037	43,224,792,687
元本	99,376,918,196	99,914,092,163	101,390,264,795	101,330,085,326	103,411,224,872	105,321,457,038
次期繰越損益金	△55,912,297,616	△57,882,781,825	△57,808,261,532	△56,255,771,970	△61,156,399,835	△62,096,664,351
(D) 受益権総口数	99,376,918,196口	99,914,092,163口	101,390,264,795口	101,330,085,326口	103,411,224,872口	105,321,457,038口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,374円	4,207円	4,298円	4,448円	4,086円	4,104円

<注記事項>

(注) 元本の状況

当作成期首元本額 99,016,078,194円  
 当作成期中追加設定元本額 13,214,272,672円  
 当作成期中一部解約元本額 6,908,893,828円

(注) 元本の欠損

純資産総額が元本額を下回っており、その差額は62,096,664,351円であります。

## ○損益の状況

項 目	第126期	第127期	第128期	第129期	第130期	第131期
	2019年3月14日～ 2019年4月15日	2019年4月16日～ 2019年5月13日	2019年5月14日～ 2019年6月13日	2019年6月14日～ 2019年7月16日	2019年7月17日～ 2019年8月13日	2019年8月14日～ 2019年9月13日
	円	円	円	円	円	円
(A) 有価証券売買損益	△ 324,658,675	△ 1,255,724,109	1,245,238,974	1,823,088,117	△ 3,412,210,685	525,058,706
売買益	5,898,534	3,347,927	1,279,505,618	1,846,025,759	4,260,360	559,411,078
売買損	△ 330,557,209	△ 1,259,072,036	△ 34,266,644	△ 22,937,642	△ 3,416,471,045	△ 34,352,372
(B) 信託報酬等	△ 66,767,883	△ 55,474,921	△ 60,485,668	△ 67,467,465	△ 57,940,136	△ 60,338,001
(C) 当期損益金(A+B)	△ 391,426,558	△ 1,311,199,030	1,184,753,306	1,755,620,652	△ 3,470,150,821	464,720,705
(D) 前期繰越損益金	△18,137,195,082	△18,689,884,090	△19,995,922,151	△18,703,510,907	△16,969,593,320	△20,544,694,693
(E) 追加信託差損益金	△37,035,856,763	△37,531,999,383	△38,743,617,026	△39,054,556,502	△40,458,127,632	△41,753,386,721
(配当等相当額)	( 2,594,429,804)	( 2,537,356,189)	( 2,449,765,915)	( 2,453,158,529)	( 2,511,830,604)	( 2,565,381,517)
(売買損益相当額)	(△39,630,286,567)	(△40,069,355,572)	(△41,193,382,941)	(△41,507,715,031)	(△42,969,958,236)	(△44,318,768,238)
(F) 計(C+D+E)	△55,912,297,616	△57,882,781,825	△57,808,261,532	△56,255,771,970	△61,156,399,835	△62,096,664,351
(G) 収益分配金	△ 347,819,213	△ 349,699,322	△ 253,475,661	△ 253,325,213	△ 258,528,062	△ 263,303,642
次期繰越損益金(F+G)	△55,912,297,616	△57,882,781,825	△57,808,261,532	△56,255,771,970	△61,156,399,835	△62,096,664,351
追加信託差損益金	△37,108,979,987	△37,656,723,853	△38,743,617,026	△39,054,556,502	△40,458,127,632	△41,753,386,721
(配当等相当額)	( 2,523,713,457)	( 2,414,098,503)	( 2,453,870,037)	( 2,456,635,327)	( 2,516,578,538)	( 2,568,949,286)
(売買損益相当額)	(△39,632,693,444)	(△40,070,822,356)	(△41,197,487,063)	(△41,511,191,829)	(△42,974,706,170)	(△44,322,336,007)
分配準備積立金	-	-	40,659,317	139,417,334	89,446,869	66,891,580
繰越損益金	△18,803,317,629	△20,226,057,972	△19,105,303,823	△17,340,632,802	△20,787,719,072	△20,410,169,210

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、委託者報酬のうち販売会社へ支払う手数料を除いた額の100分の50相当額を支払っております。

<分配金の計算過程>

決 算 期	第126期	第127期	第128期	第129期	第130期	第131期
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益(費用控除後)	274,695,989	224,974,852	294,134,978	352,853,423	210,434,915	241,412,034
(B) 有価証券売買等損益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0	0	0	0	0	0
(C) 収益調整金	2,596,836,681	2,538,822,973	2,453,870,037	2,456,635,327	2,516,578,538	2,568,949,286
(D) 分配準備積立金	0	0	0	39,889,124	137,540,016	88,783,188
分配対象収益額(A+B+C+D)	2,871,532,670	2,763,797,825	2,748,005,015	2,849,377,874	2,864,553,469	2,899,144,508
(1万円当たり収益分配対象額)	( 288)	( 276)	( 271)	( 281)	( 277)	( 275)
収 益 分 配 金	347,819,213	349,699,322	253,475,661	253,325,213	258,528,062	263,303,642
(1万円当たり収益分配金)	( 35)	( 35)	( 25)	( 25)	( 25)	( 25)

## ○分配金のお知らせ

	第126期	第127期	第128期	第129期	第130期	第131期
1万口当たり分配金(税込み)	35円	35円	25円	25円	25円	25円

### ◇分配金をお支払いする場合

分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

### ◇分配金を再投資する場合

お手続き分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰入れて再投資いたします。

### ◇分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により普通分配金と元本払戻金（特別分配金）に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。

分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。

### ◇元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2019年9月13日現在）

<LM・ブラジル国債マザーファンド>

下記は、LM・ブラジル国債マザーファンド全体(31,886,635千口)の内容です。

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第131期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円	%	%	%	%	%
ブラジル	1,853,680	1,962,522	52,261,977	97.1	97.1	18.1	30.7	48.4
合 計	1,853,680	1,962,522	52,261,977	97.1	97.1	18.1	30.7	48.4

(注) 邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄		第131期末					償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
ブラジル		%	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円		
	国債証券						
	BRAZIL-LTN(LETRA TESO NA)	—	237,400	236,678	6,302,752	2019/10/1	
	BRAZIL-LTN(LETRA TESO NA)	—	441,200	433,896	11,554,660	2020/1/1	
	BRAZIL-NTN-F(NOTA TESO N)	10.0	291,080	306,880	8,172,219	2021/1/1	
	BRAZIL-NTN-F(NOTA TESO N)	10.0	562,300	620,183	16,515,488	2023/1/1	
	BRAZIL-NTN-F(NOTA TESO N)	10.0	321,700	364,883	9,716,856	2025/1/1	
合 計					52,261,977		

(注) 邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

# LM・ブラジル国債マザーファンド

## 運用状況のご報告

第11期 決算日 2019年3月13日

(計算期間：2018年3月14日～2019年3月13日)

－ 受益者のみなさまへ －

法令・諸規則に基づき、「LM・ブラジル国債マザーファンド」の第11期の運用状況をご報告申し上げます。

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
信 託 期 間	無期限
運 用 方 針	1. 主としてブラジル・リアル建てのブラジル国債を中心に投資を行います。 2. 原則として外貨建資産の為替ヘッジを行いません。 3. 債券の流動性や残存年数に配慮しながらポートフォリオを構築します。
主 要 運 用 対 象	ブラジル・リアル建てのブラジル国債を主要投資対象とします。
組 入 制 限	外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	債券率	債先物比率	純資産額
	円	騰落率				
7期(2015年3月13日)	13,883	△ 3.8	96.6	—	—	百万円 88,496
8期(2016年3月14日)	12,677	△ 8.7	97.2	—	—	59,834
9期(2017年3月13日)	17,469	37.8	96.9	—	—	67,945
10期(2018年3月13日)	17,757	1.6	96.9	—	—	60,032
11期(2019年3月13日)	17,432	△ 1.8	97.0	—	—	51,018

(注1) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注2) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		債組入比率	債券率	債先物比率	債券率
	円	騰落率				
(期首) 2018年3月13日	17,757	—	96.9	—	—	—
3月末	17,640	△ 0.7	97.1	—	—	—
4月末	17,347	△ 2.3	96.5	—	—	—
5月末	15,909	△10.4	95.6	—	—	—
6月末	15,584	△12.2	95.1	—	—	—
7月末	16,436	△ 7.4	98.9	—	—	—
8月末	14,668	△17.4	97.9	—	—	—
9月末	15,713	△11.5	97.4	—	—	—
10月末	17,439	△ 1.8	97.4	—	—	—
11月末	16,928	△ 4.7	95.8	—	—	—
12月末	16,696	△ 6.0	94.9	—	—	—
2019年1月末	17,496	△ 1.5	98.7	—	—	—
2月末	17,668	△ 0.5	97.8	—	—	—
(期末) 2019年3月13日	17,432	△ 1.8	97.0	—	—	—

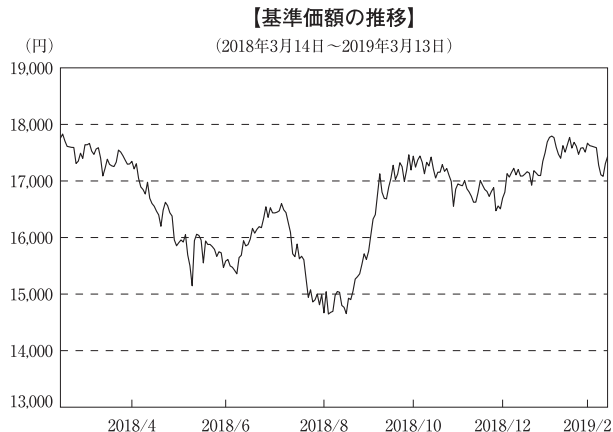
(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

### 期中の基準価額等の推移

(2018年3月14日～2019年3月13日)



### ○基準価額の主な変動要因

当期のパフォーマンス（騰落率）はマイナスとなりました。為替損益が、ブラジルリアル安・円高を反映してマイナス寄与となりました。一方、ブラジルの金利水準が相対的に高いことから、公社債利金を手堅く確保しました。公社債損益についても、債券利回りが低下したことからプラスに寄与しました。



当期のブラジル債券市場では、利回りが低下（価格は上昇）しました。

期の前半は、米中貿易摩擦懸念やブラジルの大統領選を巡る政局の混迷などから、利回りは上昇（価格は下落）しました。さらに、米国の金利上昇を背景に新興国からの資金流出懸念が高まったことや、ブラジル中央銀行（BCB）が2018年5月の金融政策委員会（COPOM）において、市場予想に反して利下げを見送ったことなどから、利回りは一段と上昇しました。

期の半ばは、トルコ情勢の悪化などを受け投資家のリスク回避姿勢が強まったことや、ブラジル大統領選を巡り政局の混迷が深まったことなどから、利回りは上昇しました。しかし、その後、大統領選で市場参加者が支持するボルソナロ氏が勝利したことが好感され、ブラジル資産への選好が強まったことなどから、利回りは低下しました。

期の後半は、BCBが12月のCOPOMでインフレ見通しを下方修正し、ハト派的な姿勢を示したことを受け、利回りは低下しました。また、ボルソナロ政権による年金改革への期待感が高まったことも利回りの低下につながりました。

当期のブラジルリアル・円相場は、リアル安・円高となりました。

期の前半は、BCBが2018年3月のCOPOMで追加利下げの可能性を示唆したことや、大統領選を巡る不透明感などを背景に、リアル売り・円買いが優勢となりました。また、米国の金利上昇を受けて新興国からの資金流出懸念が高まったことも、リアル売りを強めました。

期の半ばは、トルコ情勢の悪化などから投資家のリスク回避姿勢が強まったことや、大統領選を巡り政局の混迷が深まったことなどから、リアル売り・円買いが優勢となりました。しかし、その後、新興国市場への過度な警戒感が後退したことや、大統領選でボルソナロ氏が勝利したことが好感され、リアル買い・円売りが優勢



となりました。

期の後半は、米中貿易摩擦への警戒感や世界的な株安などを受け、投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、リアル安・円高となりました。しかし、その後、ブラジルの年金改革への期待感などから、リアル買い・円売りが優勢となりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

---

当ファンドは、主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用に努めてまいりました。当期においては、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築しました。

## ○今後の運用方針

---

主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行い、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築してまいります。

## ○1万口当たりの費用明細

(2018年3月14日～2019年3月13日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 )	円 26 (26)	% 0.158 (0.158)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数  保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	26	0.158	
期中の平均基準価額は、16,627円です。			

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2018年3月14日～2019年3月13日)

### 公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	ブラジル	国債証券	千ブラジルリアル 934,132	千ブラジルリアル 954,499 ( 83,950)

(注1) 金額は受渡し代金。(経過利息分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) ( )内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2018年3月14日～2019年3月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2019年3月13日現在)

### 外国公社債

#### (A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円	%	%	%	%	%
ブラジル	1,629,730	1,695,016	49,494,468	97.0	97.0	—	29.6	67.4
合 計	1,629,730	1,695,016	49,494,468	97.0	97.0	—	29.6	67.4

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切捨て。

#### (B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄		当 期 末				
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
ブラジル		%	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円	
	国債証券					
	BLAZIL-LTN (LETRA TESO NA)	—	87,300	85,500	2,496,617	2019/7/1
	BRAZIL-LTN (LETRA TESO NA)	—	17,800	17,738	517,954	2019/4/1
	BRAZIL-LTN (LETRA TESO NA)	—	137,000	132,346	3,864,529	2019/10/1
	BRAZIL-NTN-F (NOTA TESO N)	10.0	899,930	942,188	27,511,913	2021/1/1
	BRAZIL-NTN-F (NOTA TESO N)	10.0	487,700	517,241	15,103,453	2023/1/1
合 計					49,494,468	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2019年3月13日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	49,494,468	96.8
コール・ローン等、その他	1,659,173	3.2
投資信託財産総額	51,153,641	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産(50,441,475千円)の投資信託財産総額(51,153,641千円)に対する比率は98.6%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、3月13日における邦貨換算レートは1米ドル=111.29円、1ブラジルレアル=29.20円です。

## ○特定資産の価格等の調査

(2018年3月14日～2019年3月13日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年3月13日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	51,312,411,079
コール・ローン等	749,509,682
公社債(評価額)	49,494,468,013
未収入金	305,535,333
未収利息	736,828,142
前払費用	26,069,909
(B) 負債	294,051,489
未払金	159,130,400
未払解約金	134,918,993
未払利息	2,096
(C) 純資産総額(A-B)	51,018,359,590
元本	29,266,666,535
次期繰越損益金	21,751,693,055
(D) 受益権総口数	29,266,666,535口
1万口当たり基準価額(C/D)	17,432円

<注記事項>

- (注1) 元本の状況
- |           |                 |
|-----------|-----------------|
| 期首元本額     | 33,807,073,092円 |
| 期中追加設定元本額 | 6,694,279,122円  |
| 期中一部解約元本額 | 11,234,685,679円 |
- (注2) 期末における元本の内訳
- |                             |                 |
|-----------------------------|-----------------|
| LM・ブラジル国債ファンド(毎月分配型)        | 25,503,730,666円 |
| LM・ブラジル国債ファンド(年2回決算型)       | 2,125,818,538円  |
| LM・ブラジル・ボンド・ファンド(適格機関投資家専用) | 1,636,328,353円  |
| LM・ブラジル国債ファンド(適格機関投資家専用)    | 788,978円        |

○損益の状況 (2018年3月14日～2019年3月13日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	4,569,982,242
受取利息	4,570,448,874
支払利息	△ 466,632
(B) 有価証券売買損益	△ 5,627,011,623
売買益	567,741,675
売買損	△ 6,194,753,298
(C) 保管費用等	△ 81,463,486
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 1,138,492,867
(E) 前期繰越損益金	26,225,031,934
(F) 追加信託差損益金	4,227,072,851
(G) 解約差損益金	△ 7,561,918,863
(H) 計(D+E+F+G)	21,751,693,055
次期繰越損益金(H)	21,751,693,055

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。